



新製品情報

燃焼性高めた
廃プラ焼却炉

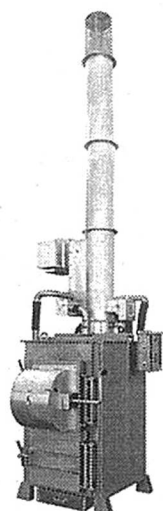
既存モデルを
大幅に改良し

DAITO

全面開放扉タイプのS

DAITO(本社・愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)は三月、耐火材式の廃プラスチック対応焼却炉「SPZ」「SPII」を発売した。既存の「MDZ」「MDPII」を基本設計から見直しフルモデルチェンジを図った。

④標準装備タイマーによ



新発売のSPZ
- 400 モデル

る焼却後の冷却運転で、バーナーをはじめとする機器類を保護——など。

税別価格は、焼却能力一時間当たり十八キログラムのSPZ・200、SPII

・200がそれぞれ百九十八万円、百七十八万円。同二十九キログラムのSPZ・400、SPII・400がそれぞれ二百四十万円、二百二十八万円。運賃・取り付け費は別途。初年度販売目標は合計二百四十台。

製品は焼却炉の構造に関する全ての法規制に適合。全国の展示会で燃焼テストや実機を見学できる。問い合わせ先は同社お客さま窓口、電話0120(21)3136。

(谷 篤)